

* ピースウィンズ・ショップから *

お歳暮・クリスマスギフトのご案内

年末まで残すところあとわずか。今年もギフトシーズンがやってきました。お世話になったあの方へ、作る人の想いのこもったコーヒーギフトはいかがでしょう。通年販売のピースコーヒーだけのセットに加え、毎年ご好評いただいている「おかし屋ばれっと」さんのミルクティー・チョコッキーの入ったコーヒーセット、「ピーブルツリー」さんのフェアトレードチョコが入ったコーヒーセットなど各種ご用意しました。「お歳暮」「お年賀」「祝」など色々な「のし」にも対応可能ですのでご相談ください。皆様からのご注文をスタッフ一同お待ちしております。



今年もカレンダーが完成しました

PWJスタッフが各支援地で撮影した子どもたちの笑顔が満載の「PWJオリジナルカレンダー2011」を今年も販売します。送料が・・・とおっしゃる方に朗報！カレンダーだけならヤマトメール便にて160円でお届け可能となりました。子どもたちの元気な声が聞こえてきそうなオリジナルカレンダー、ご自宅用はもちろん、ギフトにもご利用ください。

* 売切れ次第終了とさせていただきますのでお早めどうぞ。

ご注文は、<http://pwshop.ocnk.net/>

またはTEL03-6438-9403、FAX03-5786-7782まで。

※ピースウィンズ・ショップの収益はPWJの国際支援活動に活用されています。



支援地レポート

スーダン

ボータ郡でのトイレ建設事業は順調に進んでいます。現在は、完成したトイレの引渡式とあわせ、モニタリングから学んだ点を活かして「衛生」に関する取り組みを実施しています。完成を喜ぶ校長をはじめ、パリアック小学校の先生たちは、生徒の衛生知識を向上させ、学べる場を提供することに繋がると口々に語ってくれました。この新しいトイレを使用する生徒たちが、家族やコミュニティに対して衛生向上を啓蒙していくことを願いつつ、引渡式の準備を行っています。



スリランカ



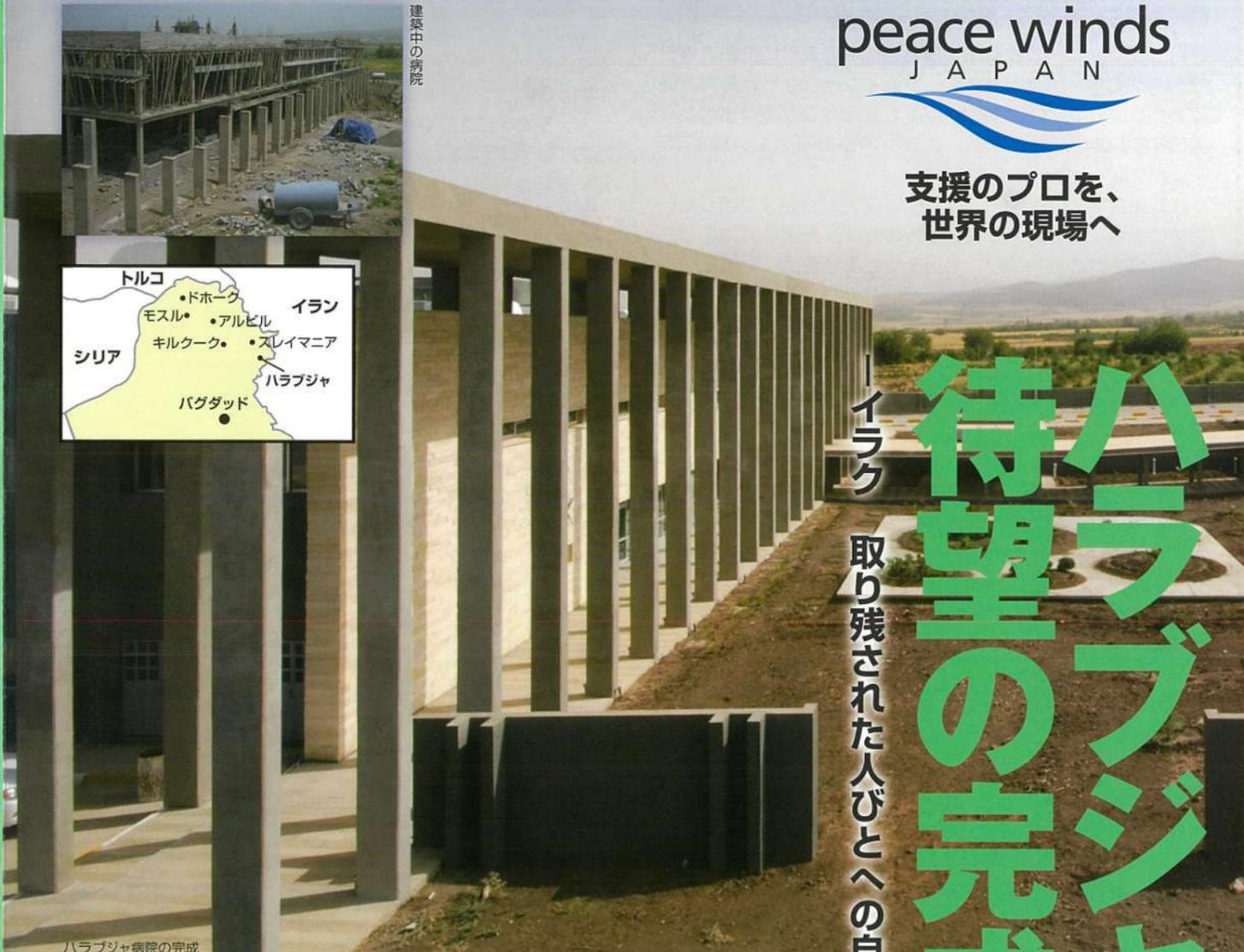
PWJは東部での活動に加えて、北部でも帰還民支援を開始しました。迫り来る雨季を前に「安心して暮らせる場所を」と願う声は強く、東部に続いて、仮設住居支援を北部のキリノッチ県やムラティブ県でも行っています。PWJでは、受益者の方々に資材を提供するだけでなく、PWJエンジニアが建設指導を行うなどのサポートも行っています。そんな中、雨対策に盛り土をするなど、予想もしていなかった住民たちの工夫を見ることができ、PWJスタッフはモニタリング中も嬉しい驚きがありました。

ハイチ

今年1月のハイチ地震後から支援を続けてきたPWJは、テントなど生活用品の配布や簡易教室設置などの支援を終え、学校再開支援の第2段階として10校を選定し、より頑丈な簡易教室や教員室・トイレの建設をスタート。また、心のケアを目的にした社会心理ワークショップを教員対象に開催し、今後は「トラウマにどう対応してゆか」について生徒を対象に開催することを予定しています。



支援のプロを、
世界の現場へ



ハラブジャ病院の完成

ハラブジャ母子病院、 待望の完成へ

イラク 取り残された人びとへの自立支援

着想から約3年半の歳月をかけ、イラクのスレイマニア州南西部にあるハラブジャの町に、ピースウィンズ・ジャパン (PWJ) が建設した50床の母子病院が完成した。2010年11月の開所式に先がけて、現地保健局により、10月14日から外来診療を開始。同16日から入院診療、22日からは手術も始まった。

「こんなきれいな病院で出産ができて嬉しい」「入院することに抵抗がなくなった」など、続々と歓喜の声が寄せられている。

ハラブジャの人口は約8万人。これまでは、小児科4床、産婦人科4床の小さな病院が存在するのみで、ベッドは常に満床であった。そのため、診察待ちの患者による混雑はもちろん、人手は慢性的に不足し、トイレや廊下の清掃も間に合わず、入院を拒否する患者さえ少なくなかった。化学兵器の後遺症が残るハラブジャでは、異常出産や流産の確率が周辺地域より高くなっているにも関わらず、妊産婦や乳幼児をめぐる医療環境は劣悪なままであった。PWJは、急務であったハラブジャでの母子保健サービスの向上に向け、2008年、ハラブジャ母子病院の建設事業に着工した。

出産予定日を翌日に控えたザフワさん(25歳)は、ハラブジャから車で1時間弱かかる村から、義理の母親と一緒に病院にやってきた。彼女にとっての初出産。従来の小さな診療所では、ベッドがないために出産前の入院を諦めていたが、新しい病院ができたこと聞いて、一日前に来ることを決めた。病院で安心して産むことができます、とPWJのスタッフに笑顔を見せた。

多くの住民が待望の目で見守る中、ハラブジャ母子病院は開所式を迎え、新たな命が吹き込まれた。

建築現場での作業



建築現場を視察するPWJスタッフ角島



